

項目		説明
試料・情報の利 用目的 及び 利用方法	研究課題名	ニボルマブ投与中の食道癌扁平上皮癌における Hyperprogressive disease の検討
	研究目的	さまざまな癌種において、免疫チェックポイント阻害剤投与中に腫瘍が急速に増大する Hyperprogressive disease (HPD) という現象が報告されており、HPD を来した患者は予後不良とされています。食道癌に対しては二次治療において免疫チェックポイント阻害剤であるニボルマブが保険承認されていますが、食道癌における HPD の実態やそのリスク因子については明らかにされていません。本研究では食道癌における HPD のリスク因子や予後を明らかにすることを目的として計画しました。
	研究対象者	当院で 2019 年 8 月～2021 年 3 月までの期間でニボルマブが投与された食道癌患者さん。
	研究期間	西暦 2021 年 6 月 14 日～西暦 2022 年 12 月 31 日
利用する試料・情報の項目 (チェック[X]が入った項目を利用します)		<input type="checkbox"/> 血液 <input type="checkbox"/> だ液 <input checked="" type="checkbox"/> 臨床検査データ <input type="checkbox"/> 病理組織 <input type="checkbox"/> 排泄物(尿・便) <input type="checkbox"/> その他(記載して下さい) <input type="checkbox"/> 毛髪 <input checked="" type="checkbox"/> 診療記録
試料・情報の 管理について の責任者	当センター 研究責任者	消化器内科・消化管 町田望
試料・ 情報を 利用す る者の 範囲	当センターでの実施診療科/部局等	消化器内科・消化管、胃食道外科
	共同研究の場合、共同研究機関および各施設での研究責任者	なし